

平成28年度第1回 嬉野市総合戦略推進委員会 議事要旨

日時：2016年7月26日（火） 10：00～12：00

場所：嬉野市役所塩田庁舎3階 3-2,3-3会議室

◇出席委員：戸田委員、副島委員、村上委員、松永委員、田中委員 [計5名]

◇欠席委員：毛利委員、林委員、熊谷委員、前田委員

【次第】

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 平成27年度実施事業の進捗状況・評価・検証について
4. その他
5. 閉会

【内容】

(事務局より)

- ・今回の会議の目的と11月にもう1回会議を開くことの説明。
- ・資料に基づき平成27年度の事業を説明。

(委員より)

<観光施策について>

- ・外国人観光客数については、目標達成しているが、目標値の変更を検討していくか。
- ・嬉野市の課題として、団体客（観光バス）に対応可能な食事処がない。以前は、陶彩館が一举に引き受けていた。既存であるもの、例えば旅館等でも対応できる場所あればよいが。
- ・嬉野については、足を止めるしかけが不足しているという印象。
- ・塩田町の観光資源はまだまだ埋もれていると感じる。
- ・観光情報の整備について、タイムリーな情報に更新していく人と仕掛けが必要と考える。きめこまかな情報発信に努めてほしい。
- ・日本版DMOについて、観光協会と同じような2つ目の団体とならないか危惧する。日本版DMOそのものをちゃんと理解した上で設立を検討しなければならない。情報発信、情報収集についても日本版DMOが担っていくのではと考えられる。

<人口減少について>

- ・社会減少、流出をどう防ぐのかについて、現状を把握し、原因を分析しておく必要がある。
- ・若者からしたら、嬉野で働くというイメージがわからないと思う。企業側からの情報発信が大事である。

<熊本地震を受けて>

- ・防災施策について、熊本地震を受けての対策を検討すべき。

<子育て支援策について>

- ・「こどもセンター」を整備については、既存建物を活かして、何より大事なのは施設における活動である。ソフト面に目を向けて環境づくりに努めていただきたい。

<総じて>

- ・まだ1年目であるため数値的な成果が表れないものがほとんどだと考える。